

阿見町国体跡地利活用サウンディング調査結果について

阿見町国体跡地の利活用について、民間活力を導入した跡地利活用の可能性を検討することを目的として、民間事業者へサウンディング調査を実施しました。

なお、提案内容については知的財産保護の観点から、参加事業者名やノウハウに関する詳細な提案内容は伏せた上で、概要のみの公表とします。

1. 実施時期

現地見学会の開催	令和8年1月26日(月)～1月28日(水)
サウンディングシートの受付	令和8年1月26日(月)～2月13日(金)
サウンディングの実施(個別ヒアリング)	令和8年2月16日(月)～2月24日(火)

2. 参加者数

- (1)現地見学会 2者
- (2)個別ヒアリング 2者

3. 結果の概要

(1)施設全体の評価

- ・国体跡地単体での利活用ではなく、周辺施設を含めた広域的な利活用を図ることで、シテ
イプロモーションの観点からも大きな可能性が見込まれる
- ・国体跡地のみでの整備にとどまらず、霞ヶ浦周辺地域も含めた広域的な視点から、霞ヶ浦と
いう地域資源を活かした利活用を図ることが望ましい

(2)利活用提案の概要

- ・着地型ショートツアーの造成
- ・キッチンカー等による飲食物等の販売
- ・湖上交通網の確立
- ・湖畔イベント等の展開

(3)町への要望・その他意見等

- ・周辺施設を含めた、指定管理者制度の導入
- ・電源設置等の軽微なハード整備
- ・国、県、周辺自治体など関係機関等との連携・調整

4. 今後の方針

事業者様のご意見を参考に、町の方針を検討してまいります。